

## 海上保安大学校

海上保安大学校は、学年制をとっていますが、4学年までの学生数が例年約160名ときわめて小規模な大学校であり、また、一般の大学と異なる特殊な体制をとっていますので、ここでは本大学校を皆様にご紹介するために、大学校全体の紹介をしたいと思います。

海上保安大学校は、将来海上保安庁の幹部となる職員として採用した学生に対し、必要な教育を行なうため、昭和26年4月に海上保安庁の付属機関として設置されました。最初は東京都江東区深川越中島の仮校舎で開校しましたが、昭和27年4月に広島県呉市に移転し現在に至っています。

教育期間は本科（4年）および専攻科（6カ月）の計4年6カ月です。本科においては1、2学年で主として一般教育の科目を修得した後、2学年後期から第1群（航海）、第2群（機関）、第3群（通信工学）の各専門課程に分科され、専門教育系の科目を修得し、さらに専攻科において専門課程科目、乗船実習として遠洋航海および海上保安業務に関する実務教育が行なわれます。

本科のカリキュラムは、文部省の「大学設置基準」に準じており、一般国立大学と同様です。授業科目は表1のとおりです。また教官の組織は表2のような講座制をとっており、練習船も含めて教官数は約60名です。学生数が1学年約40名ほどの少人数ですので、個々の学生に対して徹底した教育が行なえるのが特徴と言えるでしょう。

オペレーションズ・リサーチについては、昭和46年から情報工学科目中にて講義されていますが、特に海難の救助に関係の深い Search の分野については捜索救難論科目、また政策科学については海事政策科目の中でも講義されています。海上保安庁では、過去に巡視船や航空機の適正な保有数の算定や配備の最適化に若干ORを適用しただけでしたが、近年、本州四国連絡橋、東京湾横断道路、関西新国際空港等の建設のように、海上における大型プロジェクトの推進と相まって、海上交通安全の確保のための効率的な海上交通監制のあり方、海上交通路の危険度の評価などの面でますますORの必要性を感じているところです。

また、コンピュータ導入による海洋情報システムが運用を開始し、遅ればせながら海上保安庁も情報化時代をむかえており、本大学校における情報科学、OR教育の必要性の増大とともにこれら関係科目の充実がはかられようとしています。

学生は、海上保安庁職員（国家公務員）であるため、毎月、給与をもらい、4年6カ月の全寮生活を行ないます。卒業すると一般大学同様、大学院入学資格、司法試験第1次試験免除の資格を得る他、各専門課程によって3級海技士（航海・機関）免状、第1級無線通信士免状、第1級無線技術士免状のいずれか、および1級小型船舶操縦士免状を取得します。（高橋 勝）

表1 授業科目

	科 目	系 列
一般教育系	一般教育	人文科学（哲学、文学、歴史学、心理学） 社会科学（法学、経済学、政治学、社会学、地理学） 自然科学（数学、物理学、化学）
	外国語	第1外国語（英語） 第2外国語（ロシア語、中国語および韓国語のうち1カ国語）
	保健体育	講義、柔道、剣道、一般実技
第1専門	行政法、民法、商法、刑法、刑事訴訟法、国際法、海上警察学総論、海上犯罪捜査論、海上交通管理論、海上保安運営論、海上公害論、気象学、海洋学、測位学、船舶工学、石油化学、機関工学、情報工学、情報処理論、通信機器学、航空工学序論、防災論、捜索救難論、海事政策、英語第3、特別研究（全科目を履修）	

専 門 教 育 系	第 2 専 門 (いずれか1 つの群を選択 する)	第1群(航海) 地文航海学, 天文航海学, 電波航海学, 航海計器学, 運用学, 海事法第1, 海難救助学, 海洋気象学, 船舶工学, 船用機関工学, 通信工学, 流体力学, 電波法規  第2群(機関) 材料力学, 工業材料学, 機械工学, 工作実習, 機械実験, 機械力学, 機構学, 機械設計, 製図, 自動制御第1, 蒸気機関学, 内燃機関学, 補助機関学, 船舶工業化学, 工業熱力学, 流体力学, 推進学, 機関工学実験, 電気工学, 船用電子工学, 船用電気機械, 電気工学実験, 自動制御第2, 海事法第2  第3群(通信工学) 電気磁気学, 電気回路学, 回路網理論, 空中線工学, 電波伝搬論, マイクロ波工学, 情報理論, 通信工学基礎実験, 電子工学, 電子回路学, 演算工学, データ伝送工学, 電気測定学, 無線設備管理論, システム工学, 電子制御工学, 電子回路学実験, 無線機器学, 電波航法工学, 電波工学実験, 電気通信法規, 通信系統論, 通信実技, 応用数学
	第 3 専 門	訓練, 演習, 実技 (端艇・けん銃・潜水・信号) (全科目を履修) (総合指揮・救急安全等)

表 2 海上保安大学校組織

校 長—副校長—	講 座 人文社会科学講座 自然科学講座 外国語講座 法学講座 行政管理学講座 海上警察学講座 交通安全学講座 救難防路学講座	航 海 学 講 座 運 用 学 講 座 船 舶 工 学 講 座 機 械 工 学 講 座 機 関 工 学 講 座 船 用 電 気 工 学 講 座 通 信 基 礎 工 学 講 座 電 子 回 路 工 学 講 座 通 信 機 器 工 学 講 座	練習船—「こじま」 —教務部—教務課 —訓練部—学生課, 訓練課 —図書館 —事務局—総務課, 会計課, 職員相談室 —医務室
----------	--	---	--

## 福島大学 経済学部——東北の経済・商学の魁

### 1. 東北地方の経済・商学教育のパイオニア

福島大学経済学部の歴史は、大正10年設立の旧制福島高等商業学校にさかのぼることができます。当時の福島市は、東北地方の主要産業の1つであった絹業の中枢であり、同地方の商取引の中心的役割を果たしておりました。このため、日本銀行が東北地方で最初に支店を開き、福島高商がこの地方の商業・経済に関する唯一の高等教育機関として設立されました。

昭和19年、福島経済専門学校、昭和24年、学制改革により福島大学経済学部となり、昭和51年には大学院経済学研究科、そして昭和61年には大学院経営学研究科が設置されました。キャンパスは、初め福島市森合の地にあったのですが、教育学部と統合するために、昭和56年に福島市松川町に移転しました。新キャンパスは、吾妻・安達太良を望む丘陵地にあり、緑に囲まれた閑静な環境のもとにあります。

### 2. 多彩な教育内容

本学部は、経済・経営両学科のもとに、高商以来の伝統を引き継ぐ経済学、経営学、会計学、新しい分野としての管理科学、情報処理、そして関連分野としての法学、政治学等、多彩な教育内容を誇っております。今日の情報化社会に対処すべく、管理科学科の構想もあつたのですが、大学院経営学研究科の設置が先とのことで、残念ながら未だ目の目を見ておりません。しかし、大学院経営学研究科の設置に伴い、何人かの有能なスタッフの加入を得て、OR教育の基盤は整いつつあるといえましょう。

OR教育を狭い意味から見るならば、豊富な教授陣に比べ、その陣容は必ずしも厚いとはいえません。しかし経済学部におけるOR教育という観点から見るならば、1つの方向を示すことができます。ここで、ORに多量なりとも関係あるものも含めて、ORの教育体制を担当